

発行日：2021年9月3日

品質性能試験概要報告書



J f p 株式会社 技術開発センター
福岡県大野城市乙金東2-2-1



外壁補修工法「Jfp 工法」に使用するジャストフィットピン
頭部強度試験概要報告書

〔試験名称〕

コンクリート平板に施工されたピン頭部の引抜試験

目次

1, 試験の内容	1
2, 試験体.....	1
3, 施工手順及び施工状況	2
4, 試験方法	4
5, 試験結果.....	5
6, 期間、制作担当者及び場所	6

1, 試験の内容

コンクリート平板（普通平板）に施工されたピンについて、通常穿孔する穴径は6mmであるが、ダイヤモンド刃の遠心力によるブレを0.1mmと想定し、引張治具穴径6.1mmとして頭部引抜試験を行った。

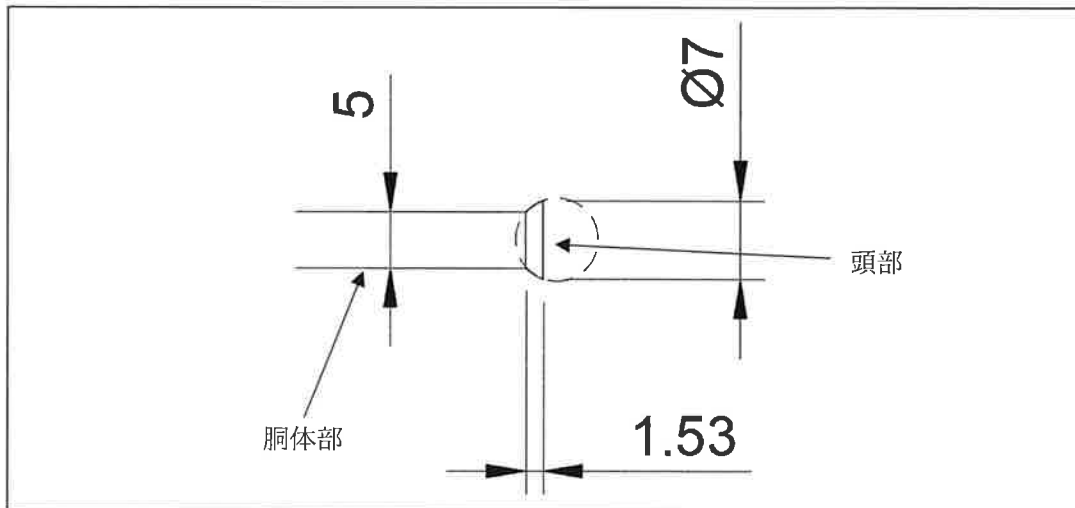
2, 試験体

試験体に施工した工法名、ピンの種類、ピンの直径、ピンの材質、接着剤、施工数量を表1、ジャストフィットピン頭部寸法を表2、に示す。

表1 試験体概要

工法名称		外壁補修工法「J f p工法」
接着剤の種類		建築補修用エポキシ樹脂（JIS A6024 適合品）
母材	名称	コンクリート平板（JIS A 5371）
	寸法	300mm×300mm×60mm
	穿孔径	φ6mm
	穿孔深さ	30mm
壁面固定用ピン	商品名	ジャストフィットピン
	材質	SUS304（JIS G 4305）
	形状	φ5mm×70mm
	数量	5本
引張治具	穴径	6.1mm

表2 ジャストフィットピンの頭部寸法



3, 施工手順及び施工状況

J f p 工法

- ①コンクリート平板 (300×300×60mm) の表面に Jf-20 (ミストエアー低騒音ドリル) 及び専用ダイヤモンドビット (M5:φ6.0mm) を用いて、コンクリート平板の所定深さ 30mm まで孔を開けた。
 - ②孔内部の乾燥として約 3 時間静置した。
 - ③接着剤注入ガンに PA 注入機を取り付けて建築補修用エポキシ樹脂を注入後、引抜用ジグを取り付けたピンを挿入し、3 日間静置した。
- ピンの施工手順を写真 1～写真 5 に示す。



写真 1 穿孔



写真 2 孔の状況

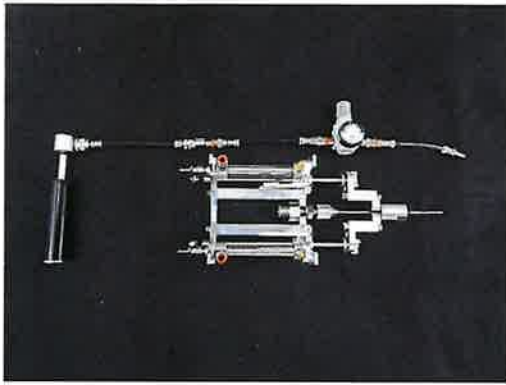


写真3 PA 注入機



写真4 接着剤注入



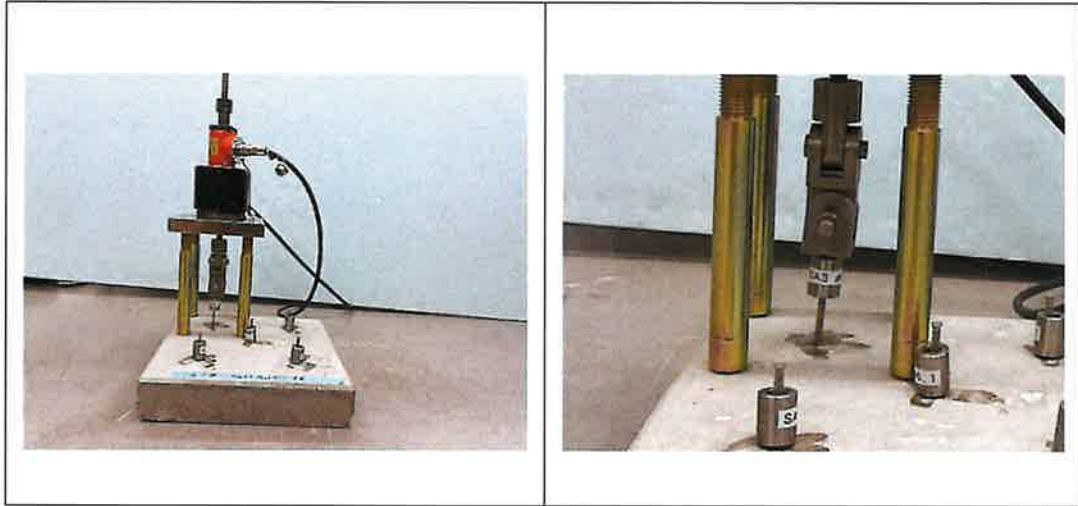
写真5 ピン注入後状況

4, 試験方法

試験は、建研式接着力試験機（建材試験センター西日本試験場 機材）を用いて、引張試験用ジグを介して試験体面に対して鉛直方向に引張力を加え、最大荷重を求めた。

試験状況を写真6に示す。

写真6 実験状況



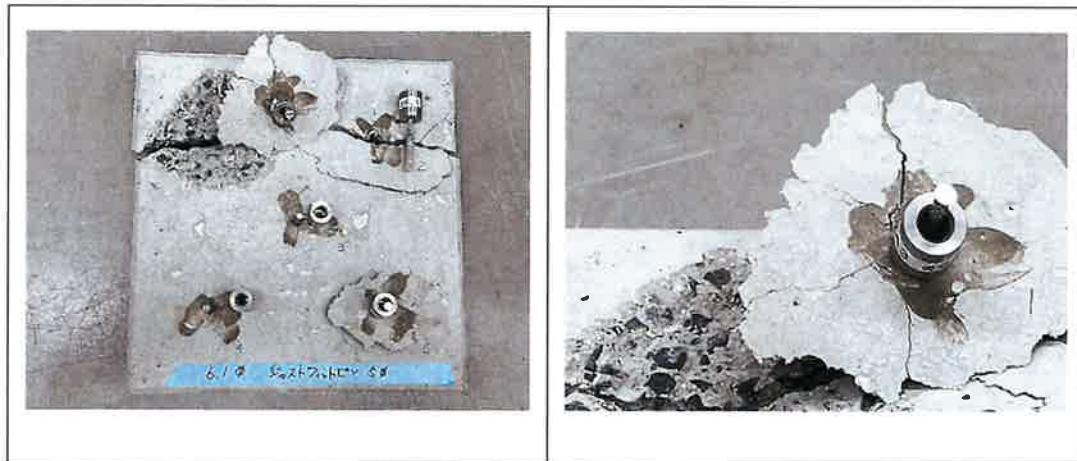
5, 試験結果

試験結果を表 4 に示す。試験後の状況を写真 7 に示す。

表 3 試験結果

壁面固定用ピン		番号	引抜き最大荷重 kN	破壊状況
商品名	形状	1	8.27	コン破壊
ジャストフィット ピン	φ5mm×70mm	2	8.54	コン破壊
		3	8.49	頭部めくれ
		4	8.36	頭部めくれ
		5	8.50	コン破壊
		平均	8.43	

写真 7 実験後状況



尚、一般財団法人 建材試験センターの品質性能試験報告書については、
「発行番号：第 21C0251 号」を参照

6. 期間、制作担当者及び場所

期 間 令和 3 年 7 月 22 日から
令和 3 年 7 月 30 日まで

制作担当者 技術開発部 部長 入 江 展 親
製造課 課長 高 野 剛 (担 当)
古 賀 悟

試験体制作場所 J f p 株式会社
技術開発センター (福岡県大野城市乙金東 2-21-1)

試験場所 一般財団法人 建材試験センター
西日本試験所 (山口県山陽小野田市大字山川)

以上